

MR育成プログラム開発

リープ 情報提供スキル向上

企業に対する教育戦略支援を行うリープは、MR育成プログラム「Skii PalettePLATINUM」を開発し、19日から提供を開始した。医療者だけでなく、患者のニーズにも合わせた情報提供スキルの向上が図れるプログラムだとしている。

新サービスについて同社は「ペイシェントセンターリティを具現化するMRをフルサポートするスキル育成プログラムとして開発した」と説明している。面談やインタビューを通じて実査し、企業組織のゴールとも合わせて学習目標を設定する。チームやMR個々のスキル課題を把握し、同社の教育設計専門家によるスキル教育を構築する。成果創出まで同社のラーニングコーチがOJTの要領でフイードバックを提供する。リープ取締役で教育設計

専門家の荒木恵氏は、新サービスについて「もともと知識レベルが高いMRに

対して、座学だけでなく知的技能としての思考力・対話力向上を目指したOJT中心のカリキュラムとなっている。組織のあるべき姿につながる育成プログラムは、スキル評価による可視化とインストラクショナルデザインの理論をベースに設計されている」とコメントしている。